

<<第26回 KSI Web調査>>

「自民党総裁選と新内閣について」

～10月31日の総選挙実施に7割以上が賛成、
岸田内閣の支持・不支持は約4割で同程度～

回答者数：1,000人

調査の背景

9月29日に自民党総裁選が行われ、岸田文雄新総裁が誕生しました。また、岸田新総裁が総理に就任し、10月31日には衆議院議員選挙の投開票が行われます。今回の調査では、自民党総裁選と新内閣について、調査しました。

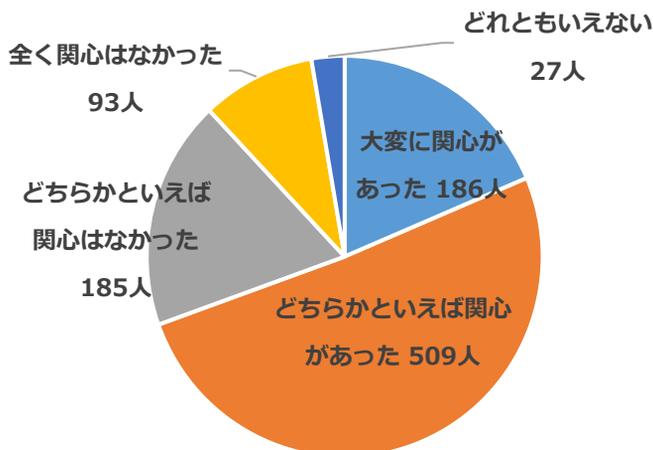
調査結果サマリ

- 今回の自民党総裁選に対して「大変に関心があった」、「どちらかといえば関心があった」と回答した割合は、それぞれ、18.6%、50.9%であったのに対し、「どちらかといえば関心はなかった」、「全く関心はなかった」と回答した割合は、それぞれ、18.5%、9.3%であった。「関心があった」と回答した割合が、「関心はなかった」と回答した割合を上回っていることが分かった。
- 70.1%の回答者が、「10月14日に衆院を解散し、19日公示、31日に総選挙を行うことに賛成である」と回答しており、岸田総理の総選挙に対する方針は高い割合で支持されていることが分かった。
- 77.1%の回答者が、「総裁選でのオンラインツールの活用を評価する」と回答しており、総裁選でのオンラインツールの活用は高い割合で支持されていることがわかった。
- 「岸田内閣を支持しますか。」という質問に対して、4.3%が、「支持する」と回答し、35%が「どちらかといえば支持する」と回答した。対して、「どちらかといえば支持しない」、「支持しない」と回答した割合は、それぞれ18%、21.8%と回答した。合計すると、支持が39.3%、不支持が39.8%で、不支持が支持を僅かに上回った。なお、「どちらでもない/関心がない」と回答した割合は、20.9%であった。
- 岸田内閣の政策に対する期待感については、8.6%の回答者が、「大いに期待する」と回答し、24.2%の回答者が、「どちらかといえば期待する」と回答した。対して、20.2%の回答者が、「全く期待しない」と回答し、28.6%の回答者が、「どちらかといえば期待しない」と回答した。総じて、「期待する」と回答した割合が、32.8%となった一方、「期待しない」と回答した割合は、48.8%となり、「期待しない」が「期待する」を上回る結果となった。

調査結果の詳細

以下の通りである。

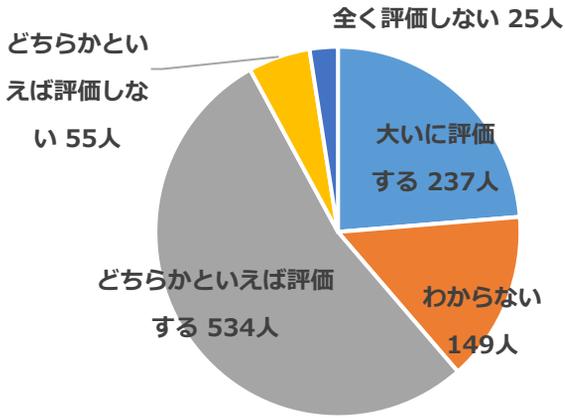
今回の自民党総裁選に対するあなたの関心の強さは？



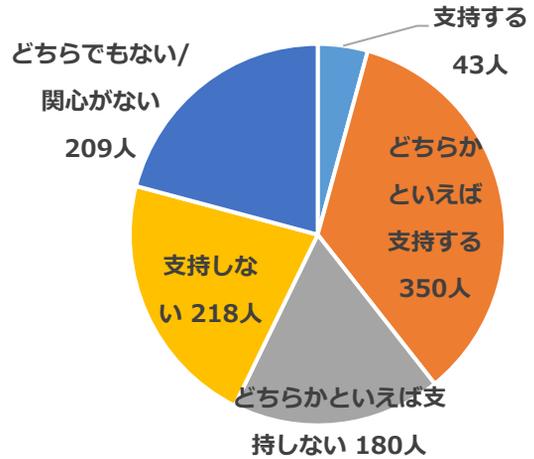
「10月14日に衆院解散、19日公示、31日に総選挙」の日程で選挙の実施に賛成？反対？



総裁選でのオンラインツールの活用を評価する？

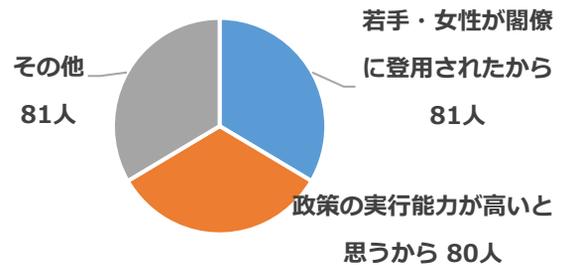
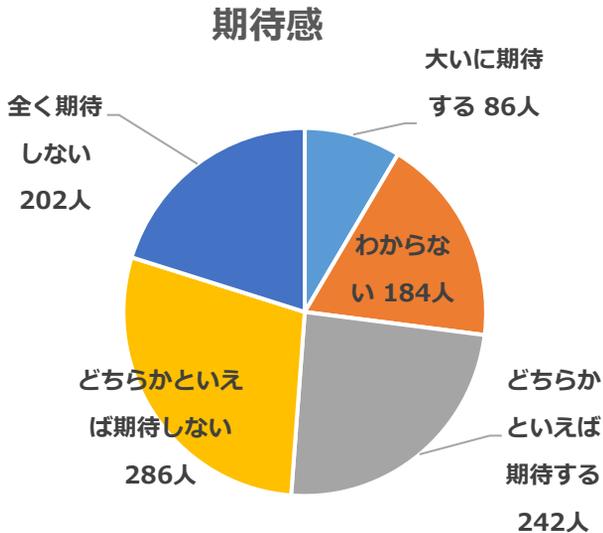


岸田内閣を支持する？

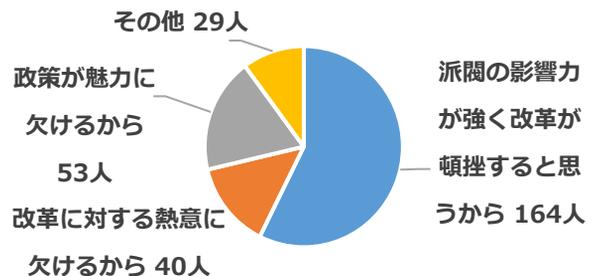


岸田内閣の政策にどちらかといえば期待する理由

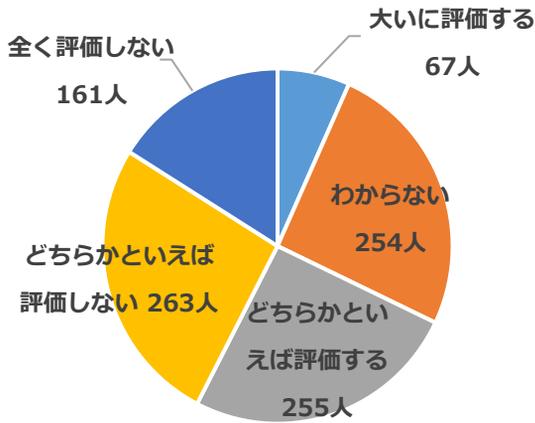
岸田内閣の政策に対する期待感



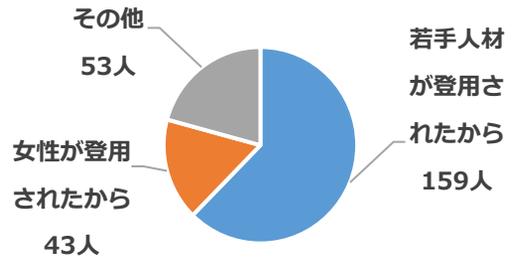
岸田内閣の政策にどちらかといえば期待しない理由



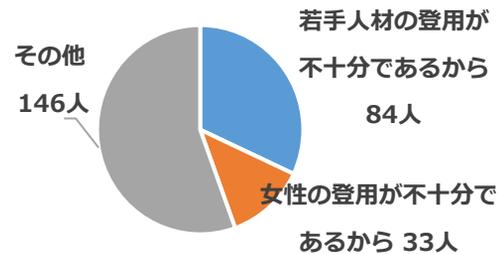
岸田内閣の閣僚人事を評価 する？



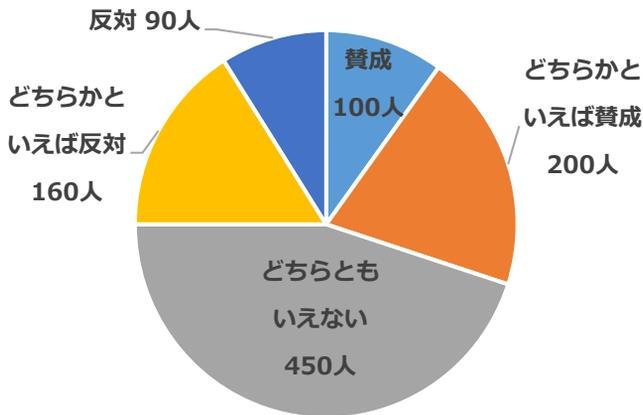
岸田内閣の閣僚人事をどちらかといえば評価する理由



岸田内閣の閣僚人事をどちらかといえば評価しない理由



自民党総裁選、党員票と国会議員票の同数のカウント制度は賛成？反対？



調査方法

インターネット上でのアンケート
※「Yahoo!クラウドソーシング」(<https://crowdsourcing.yahoo.co.jp/>)を活用

調査期間

2021年10月14日

調査数

1,000人

注) 本調査は、Yahoo!クラウドソーシングサービスを活用し、属性等を指定することなく広く一般的に回答を集めたものです。